



私たちの思い

私達は不安を持って来院された患者様が少しでも安心してお帰り頂けるよう心がけています。医療者都合で医療の常識を押し付けるのではなく、患者様の立場に立って、言葉にできない心の声も聴けるよう寄り添わせていただきます。治療は一方通行ではうまくいきません。まずは患者様と私達がお互いを思い、お互いを尊重し合えるような信頼関係を結ぶことから始めたいと思っております。そして、もし手術が必要となったら、私達医療者が思うより遥かに患者様は手術に対し不安を持たれているという事実をしっかりと理解し、患者様の今後の人生を考えたうえでの治療のご提案をさせて頂きたく思っております。



私達はこの手に託された未来の重さをしっかりと感じ、病気になった眼にいままで頑張ってきてくれてありがとう、そしてこれからまた見えるようになってくれますように、感謝を込めて、祈りを込めて、真心を込めて手術に取り組ませていただきます。

Kenji Ito

手術説明担当スタッフ

諏訪伸枝 看護師 入社14年

今まで手術を受けられた方から、何度も「もっと早くしておけば良かった」と言っていたとき、そのお言葉をお聞きするたびに1日でも早く見える喜びを感じていただくためにもっともっと患者様に寄り添わなければ！と日々考えております。自分一人だと我慢してしまうし、先延ばしにしていまいます。皆、そうだと思います。一生のうち一度の大切な手術です。患者様の立場に立って、その方の生活やお気持ちに寄り添い、最適な手術時期を決めていただけるよう精一杯サポートさせていただきます！



時澤えり子 視能訓練士 入社12年

日々検査をさせていただくなかで「何で見えにくいだろう」「ちゃんと治るのか」「手術って言われたけどそんなに悪いの？」などのお声をよくお聴きします。そんな心配や不安のお気持ちを少しでも軽くできたら、その悩み聞かせていただき何かお力になれないかと日々思いながら説明させていただいています。

そして、一緒に悩みや不安を解決していきたいと心から思っています。

手術を決めるその一歩のお手伝いをさせていただきたいです。

